

2025年5月7日

## 大気中のCO<sub>2</sub>を吸収する「CO<sub>2</sub>を食べる自販機」導入 コープデリ連合会の一部施設とコープみらいの一部店舗などに初設置

コープデリ生活協同組合連合会(本部:埼玉県さいたま市、代表理事理事長:熊崎 伸、会員生協:関東信越の6生協)は、アサヒ飲料株式会社首都圏本部(東京都渋谷区、本部長:佐藤 康彦)が展開する、大気中のCO<sub>2</sub>を吸収する特殊材(CO<sub>2</sub>吸収材)を設置した「CO<sub>2</sub>を食べる自販機」を51台、5月7日よりコープデリ連合会の一部施設、および会員生協の生活協同組合コープみらい(本部:埼玉県さいたま市、代表理事理事長:熊崎 伸、事業エリア:千葉県・埼玉県・東京都)の一部店舗と宅配センターの一部に順次導入します。

アサヒ飲料株式会社によると、1台当たりのCO<sub>2</sub>年間吸収量は稼働電力由来のCO<sub>2</sub>排出量の最大20%を見込み、スギ(林齢56-60年)に置き換えると約20本分の年間吸収量に相当するとしています。

Asahi



co-op  
コープデリ

画像はイメージです  
実際に設置する機器とはデザインが異なります

「CO<sub>2</sub>を食べる自販機」は、大気中のCO<sub>2</sub>の吸収を可能とした自動販売機を設置し、吸収したCO<sub>2</sub>をアスファルトやコンクリートなどの工業原料に活用することで、脱炭素社会の実現に貢献する取り組みです。

コープデリグループは、SDGsの達成に向けた重点課題を設定し、そのなかで再生可能エネルギーの利用と普及、地球温暖化対策を進めることを掲げています。これらの活動が「CO<sub>2</sub>を食べる自販機」の取り組みと合致し、持続可能な社会の実現に寄与すると考え、今回の導入に至りました。

コープデリ連合会は、これからも組合員・消費者、生産者・取引先、行政・他団体、役職員の連携を深め、「ビジョン2035」に掲げる「ともに」の力で、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

## <参考>

### ■アサヒ飲料株式会社による「CO<sub>2</sub>を食べる自販機」を活用した CO<sub>2</sub>資源循環について

#### 【CO<sub>2</sub>の吸収】

CO<sub>2</sub>吸収性能として、1 台当たりの CO<sub>2</sub>年間吸収量は稼働電力由来の CO<sub>2</sub>排出量の最大 20%を見込んでおり、スギ(林齢 56-60 年)に置き換えると約 20 本分の年間吸収量に相当します。

現在は関東・関西エリアを中心に、CO<sub>2</sub>濃度が高いとされる屋内に加え屋外などさまざまな場所に 2024 年 12 月末時点で約 450 台設置しています。

脱炭素社会の実現に貢献する国内初の取り組みであり、大気中の CO<sub>2</sub>の吸収を可能にした自動販売機は、特許(特許第 7282338 号)取得済みです。

#### 【吸収した CO<sub>2</sub>の活用】

自動販売機から吸収した CO<sub>2</sub>は、取り組みに賛同する各自治体や企業と共創しながら、さまざまな工業原料として活用することを計画しています。アスファルトやコンクリートの原料に配合し CO<sub>2</sub>の固定化や海中での藻場造成などに活用することでブルーカーボン生態系<sup>※1</sup>の再生を図ることなどを検討しています。

※1 ブルーカーボンとは「海洋生態系に蓄積される炭素」のことであり、そうした作用を有する生態系

### コープデリ生活協同組合連合会 概要

- 【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13
- 【代表理事 理事長】 熊崎 伸(くまざき しん)
- 【会 員 生 協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、  
コープながの、コープデリこいがた
- 【総 事 業 高】 6,160 億円(会員生協事業高計) ※2023 年度
- 【組 合 員 数】 545 万人(会員生協組合員計) ※2025 年 4 月 20 日現在
- 【ホ ー ム ペ ー ジ】 <https://www.coopnet.jp/>



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます